

Anti human PPAR α mouse monoclonal antibody

PPAR α : Peroxisome Proliferator-Activated Receptor α

製品コード PP-H0723-00

Clone No. H0723

Lot. A-3

濃度 1mg/mL

容量 100 μ L

Ig class G2a

Nomenclature NR1C1

Genbank L02932

由来 ヒトPPAR α (4-96 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

特異性 ヒト PPAR α と特異的に反応する。ヒト PPAR γ , δ には反応しない。マウス PPAR α に交差反応する。その他の動物種との交差反応は未検討。

精製法 硫酸塩析法**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN₃添加)

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。**Western Blot** 可
参考使用濃度 2 μ g/mL**非還元 Western Blot** 未検討
参考使用濃度 -**ELISA** 可
参考使用濃度 0.1 μ g/mL**免疫沈降** 可
参考使用濃度 適宜調製してください**Supershift Assay** 可
参考使用濃度 100 μ g/mL**クロマチン免疫沈降** 可
参考使用濃度 適宜調製してください**免疫染色** 未検討
参考使用濃度 -

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C 以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Tachibana K, *et al.* Nucl Recept. 2005; 3: 3

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。